

からすま病院 NEWS

発行：社会福祉法人京都社会事業財団
京都からすま病院
〒603-8142
京都市北区小山上総町 14
TEL 075-491-8559
FAX 075-492-4304

はじめまして、「京都からすま病院」です。



院長 菅田 芳孝

令和2年4月、皆さまに65年間ご利用いただいた「警察共済組合 京都警察病院」は「社会福祉法人 京都社会事業財団 京都からすま病院」に生まれ変わりました。とはいえ、職員も診療内容も建物も変わってはいません。今まで地域の皆様のご利用の中で築いてきた私たちの立ち位置に変化はありません。

京都社会事業財団は100年以上にわたり京都の医療、福祉に貢献してこられました。以前、同財団の桂病院敷地内に当院の結核病棟があったこともあり、当院とは縁の深い組織でもあります。

生まれ変わった京都からすま病院は、今後も地域に密着し皆さまの健康のお役にたてる病院を目指します。

「これまででも、これからも。」京都からすま病院をよろしくお願いいたします。

Let's Begin!

～このまちとともに このまちのために～

基本方針1 質の高い、開かれた医療の提供

医学・医療の進歩を取り入れ、「根拠に基づいた医療」の実践で、良質で公正な医療を提供します。

基本方針2 安心安全な医療の提供

患者さんへの説明と同意の充実を図り、患者さんの人権を尊重した、「安全で安心できる医療」を提供します。

基本方針3 地域に信頼される医療の提供

地域住民の医療・介護・保健・福祉に貢献するために、地域医療機関との連携を強化し、地域医療の一端を担います。



職員撮影

コラム 【ヒマワリ】

北アメリカ原産 花言葉「あなただけを見つめる」。おじさん世代は映画「ひまわり」ソフィア・ローレンの豊かな表情を思い出します。旺盛な成長力と情熱的な開花は「いのち」そのもの。

コロナ後時代を生きる私たちに「いのち」の大切さと太陽の恩恵を改めて教えてくれています。心と骨の健康のため適度の日光浴を。(Y)

診療部紹介



外科 北尾 忠寛

この度京都からすま病院へと名前が変わりましたが、これまで同様に低侵襲で早期の社会復帰を目指す医療に取り組んで参ります。

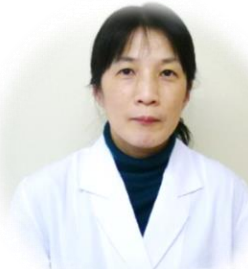
腹腔鏡手術（胃、大腸癌、胆石、腸閉塞など）、痔のジオン治療、乳癌温存術をはじめ、食道・肝胆膵癌まで広く対応します。診断、入院、手術（治療）まで迅速に対応し、外来での経過観察・抗癌剤治療まで一貫して行います。



整形外科 岡本 剛

関節疾患、脊椎疾患を中心に診療しています。いずれの疾患も筋力低下や、複数の部位に問題を抱えている方が多いので、リハビリテーションを通じて手術だけするのではなく、術前術後とも体全体のバランスの回復を重視して治療を提案しています。

個人的には競技テニスに参加して年齢の壁を超えられるか挑戦しています。



内科 稲井 眞紀

4月から名前が変わり、新しく「からすま病院」となりました。コロナウィルス感染流行のため、残念ながら外来・検査とも制限しながらの寂しいスタートになってしまいましたが、6月からは感染防止対策をしつつ、内科は外来、検査とも通常通りに行えるようになりました。地域の皆様に利用しやすい病院であるよう、努めてまいります。



内科 松本 裕子

内科外来・検査・人間ドックを担当しています。診療では大阪人のほけ・つっこみ技術を活かして、患者さんの困っていることをなるべくききとるように努めています。

こんなことで受診してもいいのかな、というときでも、大きな病気が隠れているかもしれませんし、ある程度の年齢になればかかりつけ医も必要となりますので、機会があればどうぞ受診してください。

感染症対策の取り組み

- ① 病院玄関での検温、問診
病院で入り口を正面玄関一箇所にし、全員に発熱、咳などの症状はないか確認しています。
- ② マスクの着用
院内ではマスクを外さないようにしています。
- ③ 徹底した手洗い、手指消毒
- ④ 面会禁止
患者さま、病院スタッフを守る措置となりますので、ご理解のほどお願いいたします。
- ⑤ 定期的な室内換気

